平成２２年度その他の事業報告

むじな池跡コスモス畑＆木下小学校と木下まち育て塾との「絆」

平成22年7月８日(木)木下万葉公園南側

今年も道行く人達を木下河岸へお誘いするためと木下駅圏を盛り上げるため、「むじな池跡コスモス畑」に印西市の花「コスモス」を咲かせました。今年は、地元の「木下小学校」との絆で、草取りと種まきをお願い、

木下小学校の児童による草取りと種まき

種まき後、みんなと麦茶でカンパ～イ!!

秋には国指定天然記念物「木下貝層」の前は花盛り

刈り取り作業中、近くの方々に花摘みをプレゼント

７月の暑い中、子ども達は元気に草取りと種まきをしてくれました。作業後、みんなに麦茶を差し入れ、そこで、みんなで乾杯をしようと提案、代表者３人の「きれいな花を咲かせるぞォ～!」にみんなは、「オォ～!」と元気に声を合わせてくれました。秋には、可憐なコスモスの花が咲き、木下に訪れた多くの方々に市の花「コスモス」を楽しんでいただけたことでしょう。

むじな池リニューアル

今年は、夏に雨が降らず作物にも影響を及ぼしたようですが、ここ「むじな池」も水が干上がり絶滅危惧種になっている「めだか」がいたのに死んでしまいました。だけど、池が干上がったので、アシやガマなどの草を刈ることができました。

草を刈って水辺が広がったむじな池

歴史をつなぎ～街中と人～をつなぐ　木下を元気に

町家ひなまつり　　平成 23年 2 月 27日(日)

国登録文化財「武蔵屋」にて

今年で三度目。恒例となりました「町家ひなまつり」。印西市の中心市街地活性化基本計画による木下駅圏の活性化の実践として、国登録文化財の「岩井家住宅主屋(旧武蔵屋店舗)」を活用し、いつもは私有地のため入れない町家の一般公開や雛人形の展示、お茶席、木下名物手焼きせんべいのせんべい焼き体験などを印西市茶道連盟、地元有志の方々と力を併せ行いました。当日は、大正琴のグループによる琴の奏でや、古来より楽しまれていた貝合わせの絵付け、わら細工も来場者を盛り上げていました。

きらびやかなお雛様がみんなをお出迎え

まちかど博物館へのお客様

今年度も5月 1 日のウエットランドガイドの方々から始まり、winwin プロジェクト一行が2回、公民館の待ち歩き、水の郷ツアーなど、多くの方々が吉岡まちかど博物館などを訪れ、木下駅圏の見どころを堪能されました。来場された方は、「歴史ある建物を是非残していってもらいたいですね。」といっておりました。今後も木下駅圏の活性化のため、当塾ができることを行っていきたいと思います。皆様も是非ご来場下さい。なお、吉岡まちかど博物館は、毎月第一土曜日、午後 1 時から4時まで無料にて定期開館しております。私有地をお借りしているため、それ以外は公開しておりませんのでご注意下さい。(団体で特別に見学したいときは会長にお問合せ下さい。090-3529-4990)。

同志社大学千葉県 OB(22.7.25)

winwin ツアー(22.9.4)

吉岡まちかど博物館　改修のため木切りの手伝

平成２３年１月　平岡の山にて

来年度(平成２３年度)まちづくりファンドを活用し、念願の吉岡まちかど博物館の改修を計画しました。当館は、平成１６年１０月に私有の蔵をお借りし、東京電機大学(滋賀教授グループ)の協力によりオープンしましたが、シロアリの被害などで痛みがひどく、いつかは改修したいと思っていました。会員の新見建築士の協力で実施することになったのですが、材木の経費を浮かすため、木を切って材木にしようということになり、会員で木の伐採の協力を行いました。リニューアルした吉岡まちかど博物館の企画展は、２３年秋に予定しています。

枝落し作業中!